

「気候変動による影響と対策に関する、学びと実践」

↓学校での「気候変動教育」学びのプロセス

プロジェクトメンバー・団体募集！



ESD を実施するにあたり、「体験」は学習者にインパクトのある学びの機会であり、重要な要素です。今年度は、「気候変動教育」を地域で実施する際のプログラムをモデルとして実施し、その過程を多くの方と共有し、より良いプログラムを一緒に考える事業を実施しています。

千葉県流山市立東部中学校にご協力いただき、学校にて出張授業を実施しており、プロジェクトメンバーに登録して頂いた方には、授業動画の視聴 URL をお送りします。

←資料典（一部）

気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）

- 1 「気候変動の影響と適応」を考える（講師：国立環境研究所気候変動適応センター 吉川 圭子副センター長）
- 2 「私たちのまちの防災」（講師：流山市立博物館／流山市役所 市民生活部 防災危機管理課）
- 3 「避難所開設訓練」（講師：流山防災まちづくりプロジェクト 矢口輝美）11月に東部中学校で実施予定

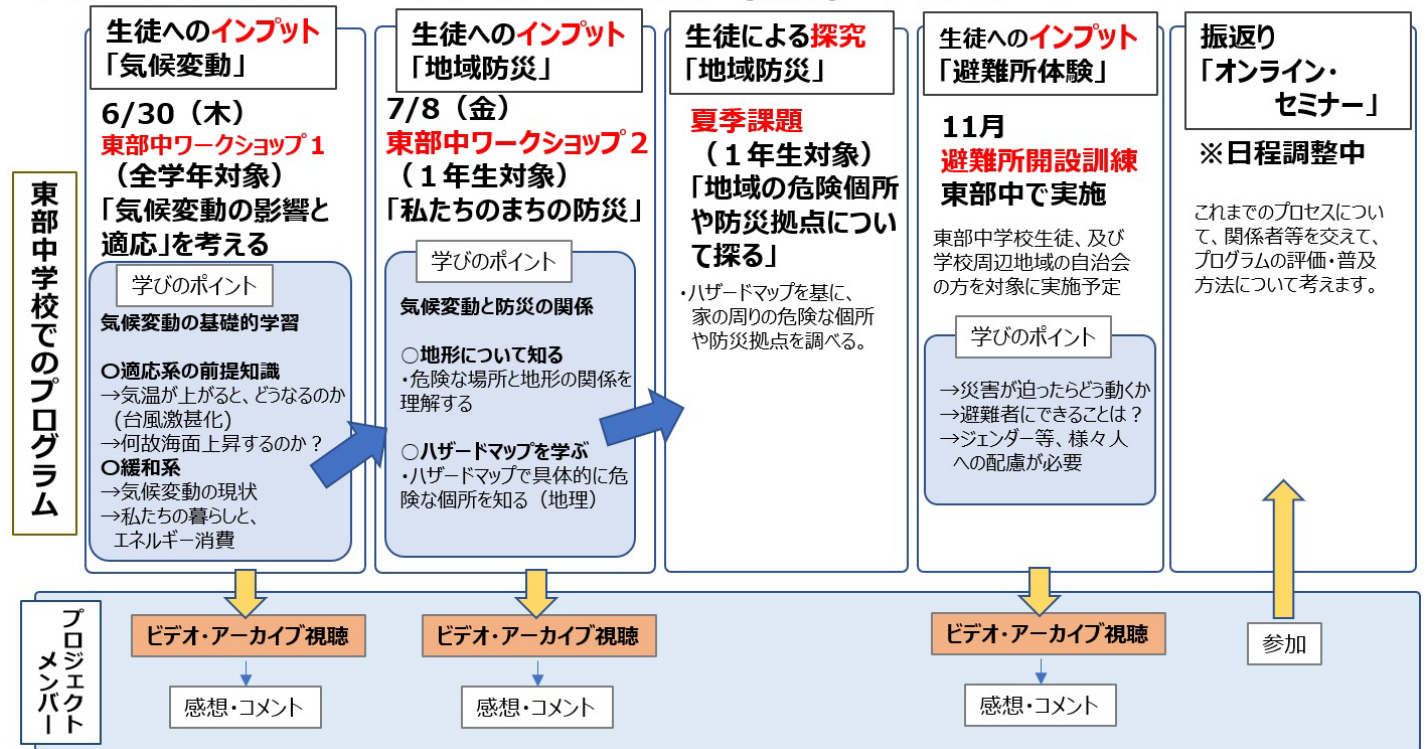
実施日	令和4年6月～令和5年2月
実施場所等	オンライン（研究会）、流山市立東部中学校（実践活動）
目的	「地球温暖化の進行により雨の降り方が極端化」→「地域の地形的な特徴」（縄文時代に海だった場所には遺跡がない）、ハザードマップ（洪水）の理解→災害発生時の避難所開設訓練という一連の流れから、気候変動による影響と対策について学び、災害時に自分だけでなく、弱者を助ける人材育成を目指す、システム思考のプログラムを実践します。
主催	関東地方 ESD 活動支援センター

プロジェクトメンバー・団体募集要綱（当センター・ホームページよりお申込みください）詳細は裏面

参加対象	気候変動リスクの影響を受けやすい地域の中高生・教員、気候変動（特に適応策）教育に関心のある方、防災教育に関心のある方
参加方法	実際に学校で開催されたプログラムの動画（メンバー限定公開）をご覧いただき、内容についてのご感想・ご意見・改善点などのコメントをお寄せください。年度末には、本プロジェクトを振り返るオンラインセミナーの実施を計画しています。
参加費	無料（オンラインに関わる通信費等は、各自でご負担ください）

プロジェクト・スケジュール

令和4年度 ESD2030学び合いプロジェクト（関東） 全体イメージ



関連する主なSDGsターゲット

<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>災害時の避難所に開設にあたっては、ジェンダー平等の視点を取り入れ、運営・避難などの様々な面で平等であることが大事です。</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>気候変動の緩和のために、再生可能エネルギーへの転換することへの理解を促進します。</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>災害に対するレジリエンスの向上のために、防災に関する知識を高め、被害を軽減する術を身に付けます。</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善します。(13-3)</p>

プロジェクトメンバーへのご参加・詳細

下記ホームページよりお申込ください。

こちらのページには、東部中学校での出張授業の資料も掲載しています。動画をご視聴後、アンケートフォームにコメント・感想の提出をお願いします。

https://kanto.esdcenter.jp/manabiai_project_2022/



「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」

ESD 活動支援センター（全国・地方8ヶ所）では、ESD 活動推進に資するテーマを定めて地域内外のESD関係者に交流と学び合いの機会を提供することを目的に、環境省、文部科学省及びESD全国センターが共催するESD全国フォーラムの一環として、地方センターごとに実践・研修などの分科会活動を提案し実施するものです。

主催・お問合せ

関東地方 ESD 活動支援センター（担当：伊藤、島田）
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F
TEL：03-6427-7975 FAX：03-6427-7976
kanto@kanto-esdcenter.jp <http://kanto.esdcenter.jp>